

ファルマバレー／

オンラインで開催！

バイオデザインセミナー

バイオデザインが企業にもたらす バリュー(VALUE)とは

ニーズの洗い出しを徹底して行い医療機器開発を進めるバイオデザイン。シリコンバレー発の戦略的な発想で開発する手法は単なる医療機器開発にとどまらず、その企業が持つ潜在的な価値まで導き出します。

2020.9.4 Fri
13:00 ~ 15:30

定員100名
参加無料

2020.7.15 Wed 10:00 申込受付開始先着順



【申込方法】

下記URLまたはQRコードより特設サイトにアクセスして、参加申込フォームよりお申し込みください。

<https://sites.google.com/view/pvc-biodesign2020>



【お問い合わせ】

(公財)ふじのくに医療城下町推進機構 ファルマバレーセンター
事業推進部 ☎ 055-980-6333 ✉ jigyo@fuji-pvc.jp



主催：(公財)ふじのくに医療城下町推進機構
共催：(一社)日本バイオデザイン学会、光産業創成大学院大学、静岡県
後援：(一社)静岡県医師会、(公社)静岡県病院協会、(公社)静岡県看護協会
(一社)静岡県臨床工学技士会、(公社)静岡県作業療法士会、(公社)静岡県理学療法士会 (順不同)

■ プログラム ■

開会／主催者挨拶 13:00 ～ 13:10



導入講演：バイオデザインプロセス概論と勘所

13:10 ～ 13:30

八木 雅和氏 大阪大学大学院医学系研究科 バイオデザイン学共同研究講座特任准教授

ニーズドリブンから始まるバイオデザイン手法だが、そこには売れる医療機器を創出するための綿密な戦略が含まれる。数々のハードルを最初から想定した中小企業にも適した開発手法を改めて確認していく。



特別講演：バイオデザイン手法で開発する現場ニーズにもとづく福祉機器

13:30 ～ 13:50

田上 未来氏 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 企画課 自立支援振興室

ファルマバレーセンターが取り組む「健康長寿・自立支援プロジェクト」における福祉機器の開発。バイオデザイン手法から見えてくる新たな発想での機器開発の可能性を探る。

Q & A

13:50 ～ 14:10



バイオデザインが我が国の医療関連業界にもたらす価値

14:20 ～ 14:40

中尾 浩治氏 (一社)日本バイオデザイン学会 顧問

日本医療機器産業のグローバルマーケットでのプレゼンス、イノベーション創出に向けたバイオデザインアプローチ、同手法が日本の大企業だけではなく、中小企業も巻き込み、さらにはベンチャー企業も創出する価値等について解説する。



バイオデザインで導き出す自社の強み

14:40 ～ 15:00

西内 大祐氏 テルモ(株)研究開発本部CTO Office研究員

テルモ(株)におけるバイオデザイン手法を用いた事業活動の紹介や同手法を活用したコア・コンピタンスの見つけ方について解説する。



光技術で日本発の治療機器グローバルビジネスの創成をめざして —バイオフォトンクスデザインの取り組み—

15:00 ～ 15:15

瀧口 義浩氏 光産業創成大学院大学 学長

光技術を基盤に、さまざまな応用産業の開拓を目指す人材を輩出している本学は、バイオデザイン手法を活用し医療・バイオ機器産業の創出に挑戦するバイオフォトンクスデザイン分野を始動した。地域の連携機関と協力し、現場ニーズを起点に世界的な視野でビジネス創出する人材を育成する。

Q & A／総括

15:15 ～ 15:30

このセミナーは「Zoom」を使用して実施いたします。

インターネット接続ができる環境で、PC・スマホ・タブレットなどから視聴できます。接続は簡単です。

Zoomを使用するには、パソコンの場合はウェブブラウザもしくはアプリケーションの利用、スマートフォンの場合GoogleplayやAppstoreなどから事前にアプリのインストールが必要です。(インストールや使用は無料)

- ・Zoomインストールなどを起因とするPCトラブルなどは保証しかねますので、自己責任のもとご使用ください。
- ・Zoomご使用が初めての方は、Zoomの接続テストサイト (<https://zoom.us/test>) にて、必ず事前にご確認ください。

※Zoomの使用方法・操作方法については、本イベントではサポートできません。

・主催者もしくは視聴者ご自身の回線・機器の状況によっては通信が不安定になったり、それを原因とした映像等の不具合が発生したりする可能性がございます。

その他注意事項は申込フォームでご確認ください。